

お知らせ

新たにロータリー財団地域コーディネーター、恒久基金／大口寄付アドバイザーに就任される皆様です。

第1地域 ロータリー財団地域コーディネーター (RRFC)
飯村慎一

2022-23年度より羽部大仁氏の後任として第1地域ロータリー財団地域コーディネーター (RRFC) を仰せつかりました第2550地区バスタガバナーの飯村慎一です。今年の4月には新型コロナウイルスの影響でオンラインではありましたが、充実した地域リーダーの研修を受け、RRFCの役割を学び、その重要性を深く認識致しました。第1地域には14の地区がありますが、4人の優秀なロータリー財団地域コーディネーター補佐 (ARRFC) に各々の地区を担当していただき、各地区のガバナーと財団委員長のネットワークを築きながら、情報を共有し、活発な財団活動を支援して参りますので、よろしくお願い申し上げます。

第1地域 恒久基金／大口寄付アドバイザー (E/MGA)
細川吉博

この度第1地域 E/MGA に就任いたしました。今まではARRFCとして羽部RRFCのもとで地域リーダーとしての駆け出しの勉強をさせて頂きました。コロナ禍で地区の行事が制限されましたが、第2510地区での講演会などお招き頂き、話すことで自分なりに大変良い経験になりました。今後E/MGAとしてその経験を生かし、多くのロータリアンに財団の活動をしっかり理解してもらい、協力していただける様に努めていく所存です。寄付を集めることのみならず、皆さんが積極的に財団プログラムに参加していくことが大切だと思っています。

地区などでの研修会などにぜひお呼び頂ける機会をお待ちしています。これからの3年間どうぞ宜しくお願い致します。



[My ROTARY RIレポート](#)
[寄付送金明細書](#)
[寄付・認証の手引き](#)

ロータリーの運営、イベント、会員に対する新型コロナウイルス (COVID-19) の影響についての最新情報は[こちら](#)

寄付総額 世界上位3ヶ国

	2022年6月23日現在
アメリカ	\$ 197,603,849
韓国	\$ 25,260,070
日本	\$ 17,579,020

2022-23年度

目標(世界)

- ・年次基金:1億3,500万ドル
- ・ポリオプラス基金:1億5,000万ドル (ゲイツ財団からの上乗せ含む)
- ・恒久基金:1億ドル (2025年までに2億2,500万ドル)
- ・その他の現金寄付:4,500万ドル (グローバル補助金への現金抛出等)
- ・全体(上記合計):4億3,000万ドル

目標(日本)

- ・年次基金:一人当たり150ドル
- 年次基金寄付ゼロクラブゼロ達成
- ポール・ハリス・ソサエティの推進
- ・ポリオプラス:一人当たり30ドル
- ・恒久基金:冠名基金を各地区1件以上設立
- ・大口寄付:1万ドル以上のご寄付100件、AKS10名増(日本全体)
- ・ポリオプラスへDDFの20%を寄贈
- ・ロータリー平和センター、重点分野へのDDF寄贈
- ・世界ポリオデー(WPD)の推進
- ・補助金の活用の促進
- ・ロータリー平和フェロシップの推進
- ・ロータリー平和フェロシップの推進

日本の状況

冠名基金数 237
AKS会員数 54
PHS会員数 1200

第3地域 恒久基金／大口寄付アドバイザー(E/MGA)
末長範彦

7月から第3地域恒久基金／大口寄付アドバイザーを拝命いたしました、第2690地区2018-19年度ガバナーで岡山ロータリークラブの末長範彦です。E/MGAとしての初年度は、以下の3つに力を入れたいと考えています。



1. 大口寄付(一括1万ドル以上)の推進
2. 恒久基金へのご寄付2万5千ドル以上で冠名基金設立(特にクラブでの設立)
3. 年次基金および恒久基金のシェアシステム(地区の財団活動に活用されます)へのご理解向上

2.の冠名基金を近年クラブで設立された例としましては、甲府、岡山南そして相模原ロータリークラブがあります。ロータリーにおいて、クラブの奉仕活動で共に汗をかく事は大切ですが、その活動を持続可能とする恒久基金へのご寄付や冠名基金の設立も重要ではないでしょうか。浅学非才ではありますがよろしくお願いたします。

【ウクライナ危機へのロータリーの対応】

2022年3月3日から4月30日までにロータリー災害救援基金に寄せられたすべてのご寄付は、ウクライナ難民またはこの戦争の被災者支援が行われている地域への人道的救援活動に優先して活用されています。

世界中の方々からの温かいご支援のおかげで、1,500万ドル以上の寄付が集まり、日本からは、約334万ドル(DDF寄贈含む)もの寄付がありました。水や食糧、シェルター、医療物資、衣服といった必需品のために既にこの資金を活用しています。

現在までに、この戦争による被災者支援のために、142件の災害救援補助金(総額430万ドル)が授与されています。ロータリー財団は引き続き、この寄付をウクライナとその周辺地域での人道的救援活動に活用していきます。地区は2022年12月31日まで、この目的のために災害救援補助金を申請できます。

[ウクライナ危機へのロータリーの対応](#)

【ロータリー会員がウクライナへの援助回廊を開く】

2月にロシア軍がウクライナに侵攻してから1日も経たないうちに、チェコ共和国とスロバキアのロータリークラブは、ウクライナへの必需品の輸送やウクライナからの避難民の移動を援助するために、人脈を駆使して鉄道拠点の利用権を確保しました。

ウクライナとの国境から100Kmほど離れたコシツェ(スロバキア)には、東西を結ぶ鉄道の貨物ターミナルがあります。ウクライナからの広軌鉄道でこのターミナルに運ばれた原材料は、標準軌の貨物列車に移されて欧州各地へと運ばれます。

多国籍の輸送会社の多くがこの貨物ターミナルを利用しており、ロータリー会員もここを拠点にウクライナの支援活動ができることにすぐに気づきました。記事の続きは[こちら](#)

リソース

<My ROTARY>

[Rotary.org 利用にあたってのリソース](#)
[「My ROTARY」アカウント登録方法](#)
[ブランドリソースセンター](#)

[ロータリーの日本語フェイスブック](#)

[ロータリーボイス](#)

[組織規定](#)

[管理委員会の決定](#)

[ロータリーのプライバシーの方針](#)

[EU 一般データ保護規則\(GDPR\)について](#)

<資料>

[財務報告](#)

[年次報告\(オンライン版\)](#)

[携帯用カード](#)

[ロータリー財団参照ガイド](#)

[地区ロータリー財団委員会要覧](#)

[地区ロータリー財団セミナーの手引\(zip\)](#)

<各種レポート>

[My ROTARY](#) にログインをすると、「各種レポート」から、役職に応じてレポートを閲覧できます。

- PHF とベネファクターレポート
- クラブ認証概要レポート(CRS)
- メジャードナー/アーチ C. クランフ・ソサエティ/遺贈友の会レポート
- PHS レポート
- 月次寄付レポート(MCR)
- 地区ファンドレイジング分析
- 補助金に関するレポート など
- 寄付者履歴レポート(本人のみ)

【ウクライナからデンマークへ:ロータリアンの家に身を寄せた17歳からのメッセージ】

アルテム・ジアブロフ氏の記事がロータリーボイスに掲載されました。以下はその抜粋です。

私はカラジnhルキウ国立大学(ウクライナ)の1年生で、数学とコンピュータサイエンスの学士号を取得するために勉強しています。戦争が始まる1週間前、母は私をハルキウ(ウクライナ北東部)からイルピン(キーウに隣接)に連れ戻しました。

2月24日の朝5時、母に起こされ、戦争が始まったこと、そしてハルキウが攻撃されていることを知らされました。窓から外を見ると、10キロほど離れた空港に爆弾が落とされるのが聞こえました。その後、ウクライナの戦闘機がすぐ近くまで飛んできて、街からミサイルでロシア軍を爆撃しており、そこにいるのがとても恐ろしかったです。記事の続きは[こちら](#)

国際大会



新型コロナウイルスの流行により過去2大会がバーチャル開催となり、ヒューストン(米国テキサス州)での今大会は2019年以來の対面式での開催となりました。ロータリーの世界的ネットワークが集まり、感動的なシーンにあふれた今大会では、対面式に加え、バーチャルでの充実したプログラムも提供されました(バーチャルプログラムの録画は8月31日まで視聴可能)。

記事の続き、ヒューストン国際大会のそのほかのハイライトは[こちら](#)

[ロータリー国際大会 バーチャルプログラム](#)

[国際大会関連ニュース](#)

[国際大会の写真、動画、講演](#)

[国際大会への事務総長の報告](#)

[国際大会への財務長の報告](#)

リソース

<資料>

[年次基金とシェア](#)

[寄付者の認証](#)

[税制上の優遇措置](#)

[オンラインでの寄付](#)

[認証ポイント使用申請書](#)

[ポール・ハリス・ソサエティ\(PHS\)](#)

[PHS パンフレット](#)

[PHS 入会フォーム](#)

[PHS 認証状テンプレート](#)

国際財団活動資金(WF)に関する
プレゼンテーション

• [パワーポイント](#)

• [動画](#)

[END POLIO NOW](#)

[ロータリー賞](#)

<DDFの寄贈>

ポリオプラス基金にDDF(地区財団活動資金)を寄贈されますと国際財団活動資金(WF)から半額の組み合わせがあり、その合計にゲイツ財団から2倍の上乗せがあります。

例: DDF2+WF1+ゲイツ6=9

※WFからの組み合わせ上限額は500万ドル、ゲイツ財団からの上乗せ対象は上限5,000万ドルです。

[DDF オンライン寄贈フォーム](#)

<感謝状>

ポリオプラスへ1,500ドル以上のご寄付をくださったクラブ、DDFの20%以上をポリオプラス基金へ寄贈してくださった地区は、次年度に感謝状が贈られます。

【宇宙飛行とポリオ根絶：新たな地平線に導く大会講演者ラインアップ】

[2022年ロータリー国際大会\(米国ヒューストン\)](#)では、女兒のエンバワメント、ポリオ根絶、新たなチャレンジへの取り組みなど、新しい方法で世界を見つめ、変化をもたらすために行動するよう講演者が参加者に呼びかけました。毎年恒例のロータリー国際大会では、世界にインパクトを与えてきた人々による講演が行われました。

新型コロナウイルス流行のため過去2年間にはバーチャルで行われましたが、今大会は「新たな地平線を発見しよう」を合言葉にジョージ B. ブラウン・コンベンションセンターで対面式で開催されると同時に、オンラインでも多くの人々が参加しています。国際大会は、世界中から会員が集まって学びあい、異なる文化や視点を分かちあい、新たな友情を築く機会となります。記事は[こちら](#)

【平和会議 in ヒューストン：平和構築へのコミットメントを強化】

2022年ロータリー国際大会の開幕直前、平和構築に力を注ぐ世界中の人びとが「[ロータリー会長主催会議 in ヒューストン：平和のために奉仕する](#)」(6月3～4日開催)に参加し、今年度におけるロータリーの紛争への対応を振り返ったほか、平和が持続する環境づくりへのコミットメントをさらに強めました。

会議ではまず、ウクライナの平和へのロータリーのサポートが表明され、ロータリーの膨大なネットワークを通じてウクライナ国内外の避難民に迅速な人道的支援が提供されていることが伝えられました。記事の続きは[こちら](#)

【ヒューストンのクラブが環境問題と人身売買について意識向上を呼びかけ】

2022年ロータリー国際大会に参加中に、地元名物やその地域ならではの文化を味わいたい人は、ミシェル・ボリアーさんに尋ねるとよいでしょう。しかし、ボリアーさんが一番楽しみにしているのは、地域社会を変えようとするヒューストンのロータリークラブの取り組みについて紹介することです。

ボリアーさんが地区ガバナーを務める第5890地区には、市内にある全60のロータリークラブが含まれています。訪れる人にヒューストンの魅力と多様性を体験してもらうと同時に、環境保護と人身売買の撲滅を目指す地域の取り組みにも目を向けてもらうことが、ボリアーさんの願いです。

「ヒューストンのクラブは、こうした問題解決の一助となる活動に力を入れています。この大会は私たちの活動を知ってもらう良い機会です」とボリアーさん。記事の続きは[こちら](#)

【イマジン メルボルン】

2022年ロータリー国際大会で新たな視野を見つけ、新しいアイデアにインスピレーションを受けた参加者たちは、オーストラリア第二の都市、メルボルンで開かれる次年度の大会に目を向けて始めています。2023年国際大会は、来年5月27日～31日に開催されます。

芸術、スポーツ、グルメのメッカ、メルボルンでは、「イマジン ネクスト」(次を想像しよう)を合言葉に、ロータリーの未来の可能性を共に探ります。

次年度の大会では、「多様性、公平さ、インクルージョン(DEI)」へのロータリーのコミットメントにスポットライトを当て、思考を刺激する数々の講演と情報豊かな分科会が予定されています。ホスト組織委員会も、スポーツ、文化的多様性、グルメなレストラン、ストリートアートで知られるこの街の活気を参加者に感じてもらえるようなさまざまな企画を立てています。記事の続きは[こちら](#)

【私がジェンダー平等推進に力を捧げる理由】

UNICEF(国連児童基金)のブログに掲載された記事より、シェカール・メータ氏(2021-22年度国際ロータリー会長)の記事がロータリーボイスに掲載されました。下記はその抜粋です。

UNICEF(国連児童基金)ガーナのプログラムスペシャリストは、[1月に発行されたUNICEF\(国連児童基金\)のブログ](#)で次のように指摘しました。「女兒たちが健康で教育を受けていれば、経済発展、貧困緩和、子どもの福利の改善によって社会全体が恩恵を受け、次世代のための可能性がぐんと高まる」。私もこれにまったく同感です。

女兒・女性も男児・男性と同じ機会が与えられている家系で育った私は恵まれています。母はジョードブル国立大学を卒業した最初の女性の一人であり、娘は博士号の取得を目指して学業に励んでいます。しかし、インドや世界各国ですべての女性と女兒が同じ機会を与えられ、リソースを使用できるわけではありません。すべての女兒が教育を望む一方で、家族の世話や家計のために労働を余儀なくされている女兒もあり、私の自宅から数キロしか離れていない貧困地域でもそのような格差を私は目にしました。新型コロナウイルスのパンデミックによって、そのような不平等はさらに悪化しています。記事の続きは[こちら](#)

【世界中で活躍する「世界を変える行動人」】

世界のプロジェクトをご紹介します。記事は[こちら](#)

【環境を守るために行動を】

昨年7月に「[環境](#)」がロータリー重点分野に加わり、天然資源の保全、生態学的な持続可能性の促進、地域社会と環境の調和促進など、全世界のロータリーファミリーが環境プロジェクトに力を注いでいます。クラブは、ロータリーのネットワークや補助金を活かしてこうしたプロジェクトを実施し、草の根の解決策や革新的方法を取り入れることで、気候変動や環境悪化の影響を抑えることができます。記事の続きは[こちら](#)

【ロータリー親睦活動グループで広がる医療従事者のネットワーク】

自分の職業を奉仕に生かせることは、ロータリーの魅力の一つです。ロータリーでは、各自のスキルと経験を生かして地域社会のニーズに取り組みながら、職業での新たな機会や関心を見つけ、個人の成長を促すことができます。その方法の一つとなるのが、同じ職業や趣味をもつメンバーと一緒に活動することのできる「ロータリー親睦活動グループ」。本稿では、医療従事者のロータリー親睦活動グループ(the International Rotary Fellowship of Healthcare Professionals)のリーダーであるジョン・フィリップさんからお話を伺いました。記事の続きは[こちら](#)

【ローターアクトとロータリー：今こそ共に奉仕を】

イグナシオ・ゴンザレス・メンデス氏(オリエンテ・デ・タルカ・ローターアクトクラブ会員)の記事がロータリーボイスに掲載されました。下記はその抜粋です。

実を言うと、ロータリーについて自分から知ろうとしたわけではありませんでした。ロータリーが私を見つけてくれたのです。世界観を変えるような幸運な出来事の連続で、ロータリーにより深く関わるようになりました。

私は13歳の時に赤十字でボランティアをし、その後、高校での保健室の設置プロジェクトに関わりました。高校の卒業式、赤十字での私のボランティア活動に対し、地元のロータリークラブが私にある賞を授与してくれました。この賞は、予期せぬかたちで亡くなった私の先生を称えるものでした。この先生は、私の活動を応援してくれていたのです。この賞を授与されたことで、もっとボランティア活動を続けようという意欲がさらに高まりました。記事の続きは[こちら](#)

「[寄付・認証の手引き](#)」をご活用ください

財団室へよくお寄せいただく質問に対する回答をまとめ、基本的な点をカバーしている手引きです。
ぜひ地区内クラブの皆様にご活用ください！

[寄付・認証の手引きはこちら](#)

ポリオプラス



【野生型ポリオウイルスによる症例数】

掲載サイト: [GPEI ウェブサイト\(英語\)](#)

		2022年 1月1日～ 6月21日	2021	2020	2019
常在 国	パキスタン	10	1	84	147
	アフガニスタン	1	4	56	29
非常 在国	モザンビーク	1	0	0	0
	マラウイ	0	1	0	0
世界合計		12	6	140	176

寄付・認証

【年次基金寄付ゼロクラブ】

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)により、クラブの取り組みや会員の皆様の生活へ引き続き大きな影響がある中でも、ロータリーを支えるためのご寄付をお寄せいただき誠にありがとうございました。

地区別年次基金寄付ゼロクラブ数

2022年6月27日現在

地区	クラブ数	地区	クラブ数	地区	クラブ数
2500	0	2620	0	2740	0
2510	0	2630	0	2750	3
2520	0	2640	3	2760	0
2530	0	2650	0	2770	0
2540	0	2660	0	2780	0
2550	0	2670	0	2790	0
2560	0	2680	0	2800	0
2570	0	2690	0	2820	0
2580	0	2700	0	2830	0
2590	0	2710	0	2840	0
2600	0	2720	0	合計	6
2610	0	2730	0		

地区内の年次基金寄付ゼロクラブの確認は、月次寄付レポートをご参照ください。※通常、ご寄付から約2週間後にレポートへ反映されます。

《[My ROTARY](#) にログイン→「ロータリー財団」にカーソルを当てて、表示されるメニュー内「各種レポート」→「地区のレポート」→「寄付&認証」の「レポートを見る」→月次寄付レポート》

なお、年度末のため6月27日付で日本事務局経理室にて入金及び書類が確認できているクラブは上記リストから除いております。

<補助金>

[ロータリーの補助金](#)

授与と受諾の条件

- [地区補助金用](#)
- [グローバル補助金用](#)

[補助金による旅行](#)

[ロータリーの旅行禁止国リスト](#)

[グローバル補助金ガイド](#)

[地域社会調査の結果フォーム](#)

[地域調査の方法](#)

[協力団体の覚書\(MOU\)](#)

[ローターアクターによるロータリー補助金の利用 よくある質問](#)

<重点分野>

[重点分野の基本方針](#)

[重点分野別ガイド](#)

- [基本的教育と識字率向上](#)
- [疾病予防と治療](#)
- [地域社会の経済発展](#)
- [母子の健康](#)
- [平和構築と紛争予防](#)
- [水と衛生](#)

[モニタリングと評価の計画について](#)

<プロジェクトのヒント>

[プロジェクトの流れ\(ライフサイクル\)](#)

[ロータリーショーケース](#)

[プロジェクトフェア](#)

[補助金担当職員一覧](#)

[重点分野の担当職員](#)

[補助金レポートの利用方法](#)

<オンライン申請>

[補助金センター](#)

[補助金センターのご利用ガイド](#)

[補助金センターのご利用ガイドグローバル補助金奨学生](#)

[グローバル補助金奨学生](#)

[グローバル補助金申請のテンプレート](#)

[グローバル補助金報告書のテンプレート](#)

[グローバル補助金 計算表](#)

<奨学金>

[奨学金の提供](#)

[ロータリー平和フェロシップ](#)

[ロータリーの学友](#)

[グローバル補助金奨学生のテンプレート](#)

<資格認定>

[参加資格の認定](#)

[地区の覚書\(MOU\)](#)

[クラブの覚書\(MOU\)](#)

[クラブの覚書\(MOU\)の実施に関する指針](#)

[クラブの覚書\(MOU\)ワークシート](#)

[クラブの参加資格認定 よくある質問](#)

【ポール・ハリス・ソサエティ会員としてのご寄付：自動定期寄付をご利用中の皆様へ】

継続的なご支援に心よりお礼申し上げます。日本円でのご寄付の場合、設定中の寄付金額によっては、RIレート変動の影響で1,000ドルに満たない場合がございます。かならず寄付者ご自身でご寄付の状況をご確認くださいませよう願いたします。ご自身のご寄付の状況は、「寄付者履歴レポート」からご確認くださいませ。

(参考：「[寄付・認証の手引き](#)」 p.43)

補助金

【メンバー募集中 ロータリー財団の専門家グループ～職業の専門知識を世界で生かす～】

現在、[ロータリー財団専門家グループ\(Cadre\)](#)のメンバーを募集しています。日本のメンバーが不足しているため、以下の記事をお読みいただき、申請をご検討いただくか、皆さまのお知り合いで適任と思われる方への情報シェアをお願いいたします。

ロータリー財団専門家グループとは、ロータリー重点分野のいずれか、または財務監査に関する専門知識をもつロータリーのグループです。現在、75以上の国に500名を超えるメンバーが登録されています。

専門家グループのメンバーとなるには、ロータリークラブの正会員で、重点分野のいずれか、または財務監査の分野において2年間の職務経験がある必要があります。任命職ではないため、要件を満たしている方はぜひご申請ください。

[【メンバー募集中】ロータリー財団の専門家グループ ～職業の専門知識を世界で生かす～](#)

《申請方法》

[補助金センター](#)の「専門家グループ」のページから申請し、審査、オンライン研修を経てメンバーとなります。



登録画面「ここから始めましょう」を開くと「全般」のタブが開き、あなたの情報が自動的に表示されています。

右下の「次へ」をクリックします。

「Cadre Membership」のタブが開きますので、専門分野の経験などの詳細を入力し、提出します。CVなどのアップロード(添付)を忘れずをお願いいたします。

お問い合わせは、財団室(RLJPNTRF@rotary.org)または、ヨギタ・シャルマ(Yogita.Sharma@rotary.org)まで。

【地区補助金 申請書】

2022-23 年度のガバナー、地区財団委員長(DRFC)、地区補助金委員長は My ROTARY の「補助金センター」より、2022-23 年度地区補助金の申請書の作成・提出ができ、本年度の報告書を提出してなくても、申請書を提出することができます。

参照：「[補助金センターのご利用ガイド](#)」 p.28～

＜入力のヒント＞

- **使用計画タブ：**活動を追加する際に、「簡単な説明」欄にはそのプロジェクトの内容と、地区補助金資金をどのような経費に使うか、簡単な説明をご入力ください。地区補助金資金を使わない経費項目については、申請書に入力しないようお願いいたします。
- **銀行情報タブ：**口座名は、カタカナまたはローマ字でご入力ください。また、「支店ID」欄には、銀行コードと支店番号(つづけて入力して7桁)をご入力ください。
- **補足文書タブ：**通帳の表紙と、表紙裏ページ(口座名が記載されているページ)を、「補足文書」タブにアップロードしてください。

【地区補助金 報告書】

地区補助金の報告書では各プロジェクトへの配分額(実際の使用額)を入力します。地区から各プロジェクトへ資金の配分が終わっていても、実施が完了してなくても報告書への入力・提出が可能なので、入力を進めておくことをおすすめします。参考:「[補助金センターのご利用ガイド](#)」 p.32、財団室NEWS5月号 p.6

<報告書画面>

実際の使用

以下の各活動について、使用した金額を入力してください。資金を使用しなかった場合、空白にするか「0」と入力してください。

#	地区またはクラブ	活動またはプロジェクトの種類	活動の実施地	計画された使用額	実際の使用額
1		地域社会の発展 (ボラン...	Japan (日本)	930	<input type="text"/>
2		食糧/農業 (一般)	Japan (日本)	1,505	1505
3		地域社会の発展 (ボラン...	Japan (日本)	564	<input type="text"/>
4		教育 (一般)	Japan (日本)	1,806	<input type="text"/>

複数人同時には、報告書の入力はできません。
複数人が同時に報告書を開いている場合、最初に開いた方のみ入力作業ができます。最初に開いた方が報告書画面を閉じるまで、他の方は入力できません。

ロータリー財団から地区へ、地区補助金が支払われた当時のRレートにて、実際の使用額(円)をドル金額に計算して、ご入力ください。

参考: [ロータリー財団地区補助金 授与と受諾の条件](#) p.6

報告書の閉じ忘れにご注意ください！

新しい年度に入ると、報告書のアクセス権限も新しい方々へ移行されます。その際に、直前年度の方々が報告書を開いたまま年度を越えてしまうと、アクセス権限が移行されているものの報告書は読み取り専用の状態のままとなってしまう、編集できない状態になってしまいます。(「この記録は確定済みのため…」というメッセージが出て、読み取り専用画面となってしまいます。)

ガバナー、地区財団委員長(DRFC)、地区補助金委員長の皆様が報告書を閉じる際は、必ず画面左下の「保存して閉じる」または「閉じる」から報告書を閉じるようお願いいたします。

保存して閉じる
保存&提出
閉じる

画面を閉じる際には、「保存して閉じる」または「閉じる」から閉じてください。インターネットのウィンドウをそのまま閉じてしまうと、正常に閉じられない場合があります。

【大規模プログラム補助金】

2021-22年度の受領者が決定されました。

<受領者>

- **ナイジェリアの家族の健康のための協力：** 妊婦、母親、新生児のためのケアの質の向上および保健・医療に関する教育を通じて、母親と新生児の死亡率を低下させることを目指すプログラム。2020-21年度大規模プログラム補助金に申請し、「優れたプログラム」として紹介されたこのプログラムは、第1860地区(ドイツ)と第9110地区、第9125地区、第9141地区、第9142地区(ナイジェリア)、母子の健康のためのロータリー行動グループ、国と州の保健省、二つの医師会のパートナーシップによるもので、質の高いケア、妊娠計画に関する知識向上、死亡のサーベイランスと対応のために教育と研修を提供しています。

<最終選考に残ったプログラム>

- **認知症ケアプロジェクト：** チェゼナ・ロータリークラブ、ローマ地域保健当局(AUSL)、ボローニャ大学とのパートナーシップによるもので、イタリアのローマ地域において認知症の高齢者の生活の質を向上させることを目的としたプログラム。ロータリー会員とパートナーは、認知症の人びとへの適切な診療計画と社会的支援を計画します。
- **Tsehai Loves Learning (TLL)：** エチオピアでの小学校就学前児童のための識字力と学校成果向上を目指すプログラム。アディスアベバ・ウェスト・ロータリークラブ(第9212地区)が、エチオピアのほかの七つのロータリークラブとローターアクトクラブ、ウィズキッズワークショップ、教育省、地元教育局と協力し、教師の研修と学習教材を提供する質の高い教育プログラム。遊びに基づく、年齢に適した包括的な学習教材を奨励し、現地の7言語による読書教材を提供するものです。

第2回の申請では、40件以上のコンセプトノートが寄せられ、大規模プログラムへのロータリー会員の高い関心が示されました。コンセプトノートは環境などすべての重点分野に及ぶもので、実施地には6大陸が含まれていました。複数のクラブや地区間の協力のほか、ローターアクトクラブ、ロータリー行動グループ、ロータリープログラム学友、ロータリー地域社会共同隊との協力が顕著に見受けられました。

詳細は[こちら](#)

ロータリー平和センター



【ロータリー平和センター年次セミナー】

国際基督教大学(ICU)とオンラインのハイブリッド形式で、第20回年次セミナーおよび第5回ロータリー平和センターセミナーが6月25日(土)に開催されました。

午前中に開催されたロータリー平和センターセミナー(主催:ロータリーホストエリア連絡協議会)では、ロータリー平和センターの今後やロータリー平和フェロシッププログラムの概要や推薦方法の確認と変更点についての情報が提供されたほか、大島広報アンバサダーより、平和センター大学である、ブラッドフォード大学とウプサラ大学の訪問についての報告がなされました。

午後には、第20回ロータリー平和センター年次セミナー(主催:国際基督教大学 ロータリー平和センター)が開催され、19期生4名のフェローによる発表が行われました。コロナ禍での研修となった19期生は、新型コロナウイルス感染症の影響で、ほとんどのフェローがオンラインで授業に参加していましたが、卒業を前に2名が来日し、3名がICUにおいて、1名がオンラインでの参加となりました。

ご挨拶

第1地域 ロータリー財団地域コーディネーター
羽部 大仁

2019年の7月1日に第1地域RRFCに就任いたしまして、今月末日でその任務を終えることになりました。この3年間を振り返りますと、コロナ禍で対面しての会合は殆ど中止や延期となりました。2019年の神戸の財団地域セミナーと昨年12月の東京JPタワーで開催した財団地域セミナーが深く思い出されます。3年目の今年4月には、PHS認証式が3年掛で開催出来ました。一緒に活動した第1地域の4名のARRFCの皆様のご尽力に敬意と感謝を申し上げます。年次基金寄付ゼロクラブゼロを達成された地区ガバナー、地区財団委員長に心から感謝を申し上げます。毎月第1地域RRFC便りをご愛読頂き有難うございました。

第1地域 恒久基金／大口寄付アドバイザー
中谷研一

2019年エバンストンでの研修会で、「皆さんの役割は最低2万5000ドルからです」との言葉に戸惑いを感じたあの日。馴染みの薄いE/MGAの役割、恒久基金、そしてロータリー財団(TRF)との関係等ご理解頂く事が大きな課題でした。このため、皆様との接点を模索し実施したオンラインの各種セミナー。一方で、情報共有、活動内容の検討を目的としたZoom会議。その中でも一番の思い出は、昨年12月ホテルオークラで開催されたメジャードナー顕彰午餐会・AKS入会式です。友に恵まれ、共に知恵を絞りながら運営し無事終了する事ができました。今、静かに振り返る時、あの素晴らしい多くの思い出が走馬灯のように鮮やかに脳裏を駆け巡ります。未来へと続く活動を支えるTRFへ、皆様の更なるご理解ご支援をお願い致します。結びに、皆さんの益々のご活躍ご発展をご祈念申し上げご挨拶と致します。3年間の感謝を込めて。

第3地域 恒久基金／大口寄付アドバイザー
佐藤芳郎

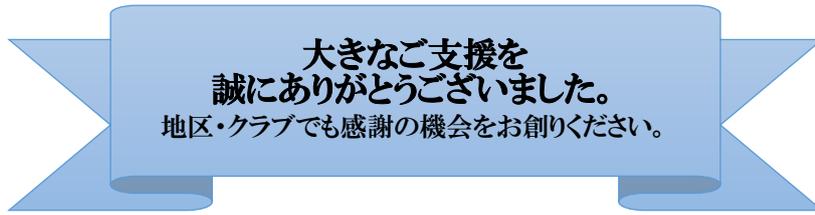
2019年から3年間第3地域の恒久基金／大口寄付アドバイザー(E/MGA)を務めさせていただきました。最初は何をすればよいのか迷いましたが、初年度にゲイリー・ホアンTRF管理委員長(当時)が来日され、懇談会を開催しました。この結果、皆様から多額の御寄付をいただきましたので、ロータリアンに財団資金を活用する奉仕活動の重要性を御理解いただくことと、併せて御寄付のお願いを訴えかけることが大切と理解いたしました。その後は毎年、各地区の財団委員長や財団委員にTRFの御理解を深めるZOOMセミナーを開催し、各重点分野の大口寄付推進計画(MGI)委員やポリオ根絶コーディネーター(EPNC)のお力も借りて奉仕の重要項目と寄付の必要性を解説した結果、多くの方々のご支援をいただきました。ご協力をいただきました皆様に心から感謝申し上げます。

2021-22年度も、大変お世話になりました。新型コロナウイルス(COVID-19)感染症の影響は続いており見通しのつかない難しい状況の中でも、ウクライナでの戦争への対応など迅速に動いてくださり、あたたかいご寄付、ご支援を継続してくださった皆様にご心より御礼申し上げます。

2022-23年度が皆様にとって、明るく幸多き一年となりますよう、心からお祈り致します。

日本事務局 財団室

大口寄付(一括10,000ドル以上のご寄付)



2022年5月17日～6月27日 確認分(敬称略、寄付日順)					
地区	クラブ	寄付者	地区	クラブ	寄付者
2750	東京目黒	羽田 伊助	2690	益田西	松本 祐二
2550	足利	羅田 秀顕	2590	横浜鶴見北	藤林 直美
2800	寒河江	鈴木 一作	2580	東京板橋セントラル	猪飼 昭彦
2780	相模原	杉岡 芳樹	2700	柳川	古賀 英次
2690	倉敷	橋本 譲	計 10 名(うち匿名 1 名)		

※オンライン寄付や諸手続きを要する大きなご寄付の場合、掲載に時間がかかる場合がございます。

<視聴覚資料>

- [ウェビナー\(オンライン研修\)](#)
- [My ROTARY 写真&動画](#)
- [重点分野の動画\(YouTube\)](#)

今後の予定

7月1日 ～9月15日	ロータリー最優秀学友会賞、ロータリー学友世界奉仕賞
7月 ～10月1日	ポリオのない世界を目指す奉仕賞
9月5日 ～6日	ガバナーエレクト研修セミナー(GETS)
10月24日	世界ポリオデー
11月	第51回ロータリー研究会
19日	財団地域セミナー
20日	メジャードナー午餐会 GETS・GNTS 他
21～22日	ロータリー研究会

国際ロータリー日本事務局財団室
〒108-0073
東京都港区三田 1-4-28
三田国際ビル 24 階
Email: RLJPNTRF@rotary.org

【寄付記録、認証品について】

世界的な財務管理システムの移行にあたり、7月以降にいただいたご寄付について、各種レポートへの反映に不具合が生じております。ご不便ご迷惑をおかけしておりますこと、心よりお詫び申し上げます。ご不明な点等ございましたらお知らせください。また、新型コロナウイルスの感染拡大と業務への影響により、ポール・ハリス・フェローやベネファクター等の認証品の発送に遅れが生じております。(順次お届けしております。)

皆様にはご不便、ご迷惑をおかけしており、誠に申し訳ございません。ご理解を賜りたく、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

- My ROTARY から閲覧できるレポート「ポール・ハリス・フェロー／ベネファクターのレポート」にて地区内・クラブ内の認証者をご確認いただけます。レポート画面の左上に表示されている「Rotary Year(すべての値)」から、年度をお選びいただけます。
(参考「[寄付・認証の手引き](#)」 p.37～)
- 環境面への配慮から、ポール・ハリス・フェローの認証状に使用していたクリアフィルムを廃止することとなりました。ご理解のほど何卒よろしくお願ひ申し上げます。

財団室 NEWS への個人データの掲載は、本人の許可を得ています。お名前やクラブ名等個人を特定できる情報を含むデータの複製、転用、転載等はできません。詳しくは[個人データの使用に関するロータリーの方針](#)をご参照ください。

ロータリー財団 2021-22年度 5月末 地区別寄付報告 (単位:米ドル)

地区	会員数	一人当り 年次基金	年次基金	ポリオプラス	恒久基金	その他の基金	合計寄付額	前年度 同月比
2500	2,144	125.61	269,311.27	32,298.46	122,000.00		423,609.73	125%
2510	2,404	151.06	363,146.84	29,021.29	37,090.99		429,259.12	110%
2520	2,132	85.98	183,304.68	15,113.00	28,046.88	7,350.00	233,814.56	119%
2530	2,216	115.04	254,928.42	30,045.88	26,119.00	5,355.00	316,448.30	94%
2540	1,113	78.99	87,911.97	1,305.16	877.19		90,094.32	98%
2550	1,665	162.95	271,317.68	36,231.03	34,819.67	20,515.79	362,884.17	113%
2560	1,999	133.31	266,489.17	48,540.24	1,400.76	7,350.00	323,780.17	108%
2570	1,562	141.29	220,698.73	63,845.54	43,798.12	2,100.00	330,442.39	101%
2580	2,837	229.11	649,975.79	164,546.12	136,371.79	2,100.00	952,993.70	111%
2590	1,884	210.81	397,157.62	55,499.26	37,245.90	8,250.00	498,152.78	114%
2600	1,871	190.03	355,550.92	60,980.77	15,700.63		432,232.32	112%
2610	2,497	111.40	278,177.12	19,804.16	3,617.86		301,599.14	99%
2620	2,818	145.82	410,920.42	54,569.76	95,112.52	2,250.00	562,852.70	112%
2630	3,030	165.22	500,631.61	39,776.56	68,550.94	7,699.65	616,658.76	121%
2640	1,638	120.79	197,851.24	21,421.62	23,665.37	3,150.00	246,088.23	85%
2650	4,292	189.44	813,083.61	105,396.91	49,525.04	3,990.00	971,995.56	103%
2660	3,455	214.17	739,957.68	192,055.67	73,309.09	26,564.84	1,031,887.28	118%
2670	2,890	123.54	357,037.73	54,543.27	31,136.36		442,717.36	139%
2680	2,585	153.74	397,424.54	46,180.27	67,065.51	5,419.05	516,089.37	110%
2690	2,897	157.28	455,640.60	77,683.92	42,475.53	4,095.00	579,895.05	92%
2700	3,038	191.06	580,429.76	26,322.61	86.84	1,050.00	607,889.21	180%
2710	3,089	141.81	438,065.71	84,568.94	79,290.69		601,925.34	109%
2720	2,316	119.59	276,972.04	22,720.97	14,914.09		314,607.10	121%
2730	2,311	74.01	171,035.77	26,601.79	7,450.00	1,050.00	206,137.56	93%
2740	2,073	88.85	184,190.61	20,127.67	108,150.00		312,468.28	152%
2750	4,493	199.84	897,892.74	164,667.33	292,061.04	7,455.00	1,362,076.11	102%
2760	4,624	172.84	799,214.46	149,357.28	114,999.02	1,050.00	1,064,620.76	110%
2770	2,327	217.43	505,964.45	105,009.57	55,199.00		666,173.02	97%
2780	2,248	168.04	377,755.24	76,975.21	49,787.14		504,517.59	101%
2790	2,650	179.46	475,560.11	74,093.30	44,540.92	2,100.00	596,294.33	115%
2800	1,507	146.71	221,091.89	47,043.41	31,992.11		300,127.41	167%
2820	1,837	152.60	280,319.98	45,785.88	44,299.57	1,050.00	371,455.43	98%
2830	1,099	148.01	162,666.65	19,632.07	4,070.00		186,368.72	116%
2840	2,059	138.63	285,431.70	58,863.82	25,526.61		369,822.13	100%
日本	83,600	157.02	13,127,108.75	2,070,628.74	1,810,296.18	119,944.33	17,127,978.00	111%
世界	1,162,763	106.66	124,017,297.38	25,665,682.86	46,818,693.58	24,139,732.84	220,641,406.66	
日本の割合	7.19%	-	10.58%	8.07%	3.87%	0.50%	7.76%	

※2022年6月23日現在(訂正等により数字が更新される場合があります)

ロータリー災害救援基金へのご寄付は、年次基金が対象となる各種認証や寄付データに算入されます。
(ウクライナ支援のための寄付含む)3年後のDDFに加算される年次基金シェアの寄付額は、「シェア指定寄付レポート」からご確認ください。(ご参考:財団室NEWS3月号p.5)